

出展料無料

募集件数

20社程度

台湾向け販路拡大のチャンス!
台湾・裕毛屋

講演会(勉強会) & 輸出商談会

2026 **06.05** FRI
START 13:30~

会場 ガーデンパレスみずほ

参加条件

商談会は、「台湾で実際に販売すること」を前提としております。
商談成立後は、原則として台湾・裕毛屋開催する物産展へ参加していただき、事業者様ご自身で現地販売・PRを行っていただきます。

※航空運賃・宿泊費・食費・現地交通費等の諸経費は事業者様の実費になります。

商談内容

- 事業者様から(株)裕源へ商品紹介
- (株)裕源から取引方法の説明
 - ※国内での取引対応
 - ※1社10分前後

対象品目

台湾に輸出可能な農林水産物および加工食品等の庄内産品
※特に本物志向の商品

主催・一般財団法人 酒田DMO

お問い合わせ

酒田DMO (荒井・高力)

☎ 080-8543-5591

✉ info@sakatadmo.com

台湾へ売り込む3ステップ! 学ぶ・商談する・台湾で売る

台湾・裕毛屋

講演会(勉強会) & 輸出商談会

出展事業者募集

【開催概要】

- 日時** 令和8年 **6月5日(金)**
13:30～ 講演会(勉強会)
14:30～ 台湾向け輸出商談会
- 会場** ガーデンパレスみずほ(予定)
山形県酒田市みずほ2丁目17-8
- 主催** 一般財団法人 酒田DMO

【台湾・裕毛屋 庄内物産展】

- 開催日程** 令和8年10月23日(金)～10月25日(日)
- 開催場所** 台湾 台中市「裕毛屋」



「輸出したい」から、 「台湾で売れ続ける商品へ」

台湾への輸出は、単に商品を送れば売れる時代ではありません。
台湾市場で求められているのは、
「誰が、どんな想いで作っているのか」
「なぜこの商品なのか」
「どのように食べるのか」まで含めた、
“作り手のストーリー”です。

台湾・台中市で高級食品スーパー「裕毛屋」を展開する株式会社裕源 代表取締役社長 謝明達氏をお招きし、台湾市場の最新動向や「台湾で選ばれる商品」について学ぶ講演会を開催します。その後、台湾輸出に向けた個別商談会を実施し、商談成立商品については、令和8年10月に台湾・台中市「裕毛屋」に開催する「庄内物産展」にて実際に販売・PRを行っていただきます。



株式会社裕源
代表取締役社長
謝明達氏

なぜ「現地販売」が必要なのか?

この事業は、単なる「輸出商談会」ではありません。
“台湾市場で売れ続ける仕組みづくり”を目的とした事業です。
裕毛屋では、「自分たちが食べたいもの売る」という理念のもと、無添加・安心安全・自然志向・生産者の顔が見える商品を重視しています。その中で最も重要視されているのが、「作り手自身が伝えること」です。台湾のお客様は、“人”で商品を選びます。「どんな想いで作ったのか」「どんな食べ方がおすすめなのか」「なぜこの素材なのか」を現地で直接伝えることで、価格競争ではない価値が生まれます。



作り手自身が
伝えること



台湾のお客様は
“人”で選ぶ



想いを伝えることで
価値が生まれる

募集するのは、「台湾市場へ本気で挑戦したい事業者」です

- 台湾市場に興味がある
- 海外販路を本気で広げたい
- 自分の商品を直接届けたい
- 台湾のお客様の声を聞きたい
- 現地販売にチャレンジしたい

そんな事業者様のご参加をお待ちしております。



【参加条件(重要)】

商談会は、「台湾で実際に販売すること」を前提としております。商談成立後は、原則として台湾・裕毛屋で開催する物産展へ参加いただき、事業者様ご自身で現地販売・PRを行っていただきます。

【輸出に関する注意事項】

- 以下の商品は輸出できません。
・ 豚肉、鶏肉 ・ 肉エキス入り加工品 ・ 中国産原料商品 ・ 土付き青果物 等
- 賞味期限 4か月以上推奨(生鮮除く)
- 担当(生産)の関係上、輸出タイミングが合わない場合は別途ご相談ください。

台湾へ売り込む3ステップ

STEP 1 学ぶ

台湾市場・
売れる商品の
特徴を知る



STEP 2 商談する

台湾高級スーパー
「裕毛屋」と
直接商談



STEP 3 台湾で売る

現地物産展で
直接PR・販売



【申込方法】

別紙「参加申込書・商品提案書」に必要事項をご記入の上、メールにてお申込みください。

申込締切：令和8年6月1日(日)まで

一般財団法人 酒田DMO

info@sakatadmo.com

TEL: 080-8543-5591

担当：荒井・高力



台湾へ売り込む3ステップ! 「学ぶ」「商談する」「台湾で売る」 台湾・裕毛屋「講演会(勉強会)&台湾向け輸出商談会」出展者募集のご案内

一般財団法人酒田DMOでは、台湾で直営スーパー「裕毛屋」を展開する(株)裕源(本社:神奈川県厚木市)との連携を進めており、これまで加工食品等の酒田商品の台湾輸出を進めております。今年度も台湾における庄内産品の一層の定着化と販売拡大を目指し「裕毛屋」商談会を開催いたします。

本商談会にてご成約しました事業者様は、令和8年10月23日(金)~10月25日(日)に(株)裕源の現地生鮮スーパー「裕毛屋」(台中市)にて行う酒田物産展に出品して頂きます。台湾への輸出にご関心のある事業者様はぜひご応募ください。

「講演会(勉強会)&台湾向け輸出商談会」	
会期	令和8年6月5日(金)13時30分~
会場	ガーデンパレスみずほ(酒田市みずほ2丁目17-8)
主催	一般財団法人 酒田DMO
募集件数	20社程度
出展料	無料
参加条件	商談会は、「台湾で実際に販売すること」を前提としております。 商談成立後は、原則として台湾・裕毛屋開催する物産展へ参加していただき、事業者様ご自身で現地販売・PRを行っていただきます。 ※航空運賃・宿泊費・食費・現地交通費等の諸経費は事業者様の実費になります。
商談会	参加者様から(株)裕源に商品説明(株)裕源から納品等の説明 ※取引は、日本法人「(株)裕源」との国内取引です ※1社10分程度を想定
対象品目	台湾に輸出可能な農林水産物および加工食品等の庄内産品 特に、本物志向の商品 ※詳細は別添「募集概要」の「対象品目」及び「詳細情報」をご確認ください
申込方法	別添の「参加申込書・商品提案書」を提出してください
申込先	一般財団法人 酒田DMO(担当:荒井・高力) 電話 (080)8543-5591 メール :info@sakatadmo.com

バイヤーの紹介 会社概要

株式会社 裕源

- 本社:神奈川県厚木市中町3-3-9
 - 代表取締役社長 謝明達
 - 主な事業内容
 - ①セブン&アイHLDGSグループ開発商品輸出入
 - ②台湾直営スーパー「裕毛屋」への商品供給(日本食材・農産物・果実等の輸出元)
 - ③矢崎化工(株)自走ロボット無人搬送車台湾市場開拓
 - ④台湾グループ企業生産の炭素繊維輸入及び国内総販売元
- HP: <http://www.yugen.co.jp/>

裕毛屋

台中市及び彰化県に展開する(株)裕源直営の高級食品スーパー。「日本産」「無添加」「自社製造の加工品」が売り。「自分たちが食べたいものを売る」ための思い切った改革を進め、台湾・日本で例のないスタイルのスーパーとなった。日本各地から「安心・安全・自然・健康」に見合った商品を自社グループで調達・輸出を行っている。

募集概要

<商談可能な食品>

- ①日本から台湾へ輸出可能な商品であること。
※下記の商品は輸出できません。
(ア)豚肉、鶏肉
(イ)畜産加工品(肉又は肉エキスが入っている加工品(レトルトカレーなど)を含む)
(ウ)中国産の商品
(エ)ジャガイモなど土についている青果物(植物検疫でNG)
(オ)これまで輸入停止されていた5県(福島、茨城、栃木、群馬、千葉)で製造されたすべての食品(酒類は除く)は、商品本体の他、付属品のたれ、かやく、つゆなど、輸入禁止措置は2022年2月21日に解除されました。但し、全品放射能検査が必要など注意点がありますので、詳細は事前に確認ください。
- ②賞味期限が4か月以上であること(青果物・肉類はこれによらない。)4か月に満たない場合は要相談。
※その他輸出可否については(株)裕源にて確認します。

<商談・納品・添付書類等>

- ①納品数量、価格、その他条件は(株)裕源との交渉により決定します。
商談が成立した商品は日本国内買取りとなり、指定する日時・納品場所へ納品していただきます。
- ②中国語表記の商品ラベル等の作成及び添付は(株)裕源にて行います。ただし、冷凍・冷蔵品に限り、(株)裕源が作成したラベルを事業者側で添付していただきます。
- ③台湾へ輸出する際「輸出の為の関係機関への届け出」は、事業者側で行っていただきます。
- ④台湾向けに輸出される食品に関する「原産地証明書」の取得は、(株)裕源にて行います。
事業者様には、商品提案書に「最終加工工場名」と「最終工場住所」を明記していただきます。
- ⑤商談頂く商品の詳細については、後日配布する所定の「商品提案書」にご記入の上、商談日の2週間前迄にご提出いただきます。

<(株)裕源への商品提案のヒント>

- ①無添加・添加物削減
裕毛屋では、「自分達が食べたいものを売りたい」というお考えから消費者の立場に立った商品を多く取り扱われており、「健康を意識した食品」・「無添加食品」が多く販売されています。そのため、免疫力向上につながる「脱添加物」を意識した商品を好む傾向があります。
- ②パッケージ
「中身がはっきりと見えるパッケージにする」など、イメージ写真や商品説明で引き付けるよりも「お客様に商品をよく見ていただく方が親切」という考えをお持ちです。
また、台湾では「瓶」が捨てにくいこともあるため、廃棄を意識した梱包資材の選択も重要です。
- ③冷凍食品
和菓子、パン類、果物ジュース、総菜、麺類等、加工・調理済みのものを作り立てにそのまま「高温急速冷凍」した商品を多く取り扱われています。「高温急速冷凍」する事で、解凍後に作り立てのおいしさが再現される、賞味期限を長く設定できる(冷凍1年)、不要な添加物を削減できる等のメリットがあります。
※上記の点を踏まえ、現在の商品を改良する事も柔軟にご検討頂ければと考えております。
- ④日本及び各国における受賞歴も台湾顧客へのアピールポイントになります。